

合唱団のしおり

■京都ミューズ主催の合唱団へようこそ！

京都新音楽協会ミューズ（京都ミューズ）は、「良い音楽を、安く、多くの人々と」をモットーに、主にクラシック音楽の演奏会を開催している、非営利の芸術鑑賞団体です。生の芸術を鑑賞する喜びを世の中に紹介し、芸術の実演家と聴衆を結び付けることにより、芸術鑑賞を「心を豊かにする『文化』」として世の中に定着させ、継続的に芸術鑑賞を楽しめる環境を作っていくことを目的としています。活動の一環として、1962年冬にベートーヴェン「第九」演奏会を開催して以来、毎年、合唱曲の演奏会を催しています。1972年からは、より幅広く音楽の魅力を発信するための取り組みとして、市民参加の合唱団を毎年結成し、一流のオーケストラ・指揮者・ソリストとの共演を実現してきました。

2022年7月10日（日）に開催される演奏会に参加するために結成されたのが、私たち“京都ミューズ・ドイツ・レクイエム合唱団”です。私たち自身も、京都ミューズの一員となり、演奏会の成功に向けて、練習に参加するだけでなく、合唱団の運営や、演奏会作りに取り組んでいくこととなります。演奏会の成功に向けて、みんなで力を合わせて頑張りましょう！

このしおりには、演奏会に出演するために必要な情報が、すべて掲載されています。入団時に必ず目を通し、演奏会当日まで大切に保管してください。

■合唱団運営は、団員全員の協力で行います

合唱団では、演奏会を作り上げるための活動として、レッスン運営や団員募集活動、団員のチケット拡販促進、長くレッスンを休まれている方のフォローなど、団運営の大部分を、団員からなる合唱団事務局を中心に、団員自身の手で行っています。団長をはじめ、受付やレッスンの進行を行っている人も、すべて団費を支払って入団した団員であり、ボランティアで運営に当たっています。

レッスンや合唱団運営に、一人ひとりが力を合わせて主体的に取り組み、自分たちの合唱団、自分たちの演奏会という意識を高めることが、演奏会の成功につながります。また、各自が少しずつ労力を出し合い、合唱団運営の経費を抑えることは、「良い音楽を、安く、多くの人々と」という、京都ミューズの活動目的にもかなうものです。

こうした趣旨から、合唱団では、全団員に、合唱団運営へのご協力をお願いしています。

合唱団運営に関わるご意見やアイデアがあるときは、受付などにお伝えください。私たちの合唱団、私たちの演奏会を、よりよいものにするため、ご協力をよろしくお願いします。

■演奏会に出演（登壇）するために

京都ミューズ主催の合唱団では、入団、演奏会出演にあたってのオーディションはありません。演奏会の成功のため、次ページの6つの条件を満たしていただくことにより、登壇が可能となります。

□1. レッスンに 20 回以上出席すること

合唱団として1つの音楽を作り上げるためには、全合唱団員が、可能な限り、多くの練習時間を共有することが不可欠です。特に事情のない限り、レッスンには必ずご出席ください。

規定回数は、音楽作りの上で、合唱団員が共有しなければならない、最低限の回数として設定されています。規定回数は、11/5 のレッスン開始後の全レッスン回数の、約半分にあたります。

※レッスンの出席回数のおえ方は、以下の通りです。

- ・定例レッスン、日曜レッスン、指揮者レッスン、オーケストラ合わせ等 ……1 回
- ・午前から午後まで、連続してのレッスン……午前・午後各 1 回

※いずれも、30 分以上の参加をもって出席とします。

20:45 までのレッスンの場合、出席の最終受付は 20:15 です。

◆欠席する場合の連絡について

以下に該当する場合はご連絡ください。該当しない場合の欠席連絡は不要です。

1) 欠席の理由が「合唱練習のための新型コロナウイルス感染防止策」プリントの【2】(1)に該当する場合。

※連絡は事後でも構いません。

※ご連絡があった場合に限り、個別に登壇条件を考慮いたします。

※体調に変化があるにも関わらず出席することは、絶対にお控えください。

2) レッスンを 3 週以上続けて欠席する場合。

□2. 本番指揮者レッスンに参加すること

演奏会までの間に、本番指揮者レッスン(本番指揮者による直接指導のレッスン)2 回とオーケストラ合わせ 1 回が予定されています。これら合計 3 回*のうち、2 回に出席する必要があります。

本番指揮者レッスンは、本番指揮者の指揮・音楽表現に触れることのできる、非常に重要な機会ですので、原則として 3 回とも参加してください。また、入団後、何らかの事情により 2 回に出席することができなくなった場合は、代替措置についてご相談をしますので、速やかに受付までお申し出ください。

*今後、諸事情により本番指揮者レッスンの回数に変更になる可能性もあります。その際はお知らせいたしますので、合唱団からの連絡をご確認ください。

□3. 演奏会当日のゲネプロ(リハーサル)に参加すること

演奏会当日は、演奏会に先立ち、ホールにてゲネプロが行われます。遅刻・欠席された場合は、いかなる理由があっても、演奏会に登壇することはできません。

※演奏会当日は、朝 9 時頃(予定)に集合し、夕方の終演後に解散となります。集合から解散まで、会場から出ることはできません。あらかじめご自身のスケジュールを調整ください。

□4. 演奏会チケットを4枚以上申し込むこと

京都ミューズの合唱団では、演奏会のチケットを団員の手で拡販し、完売・満席の演奏会とすることを、目標とします。その実現のための具体的な取り組みとして、登壇する全員が必ず4人以上の聴衆を演奏会に呼ぶ(=必ず4枚以上のチケットを申し込む)ものとします。

この合唱団は、芸術鑑賞団体の会員による合唱団として、単に私たち団員が音楽作りの喜びを共有するだけでなく、曲や共演するプロの音楽家の魅力、良質の音楽を鑑賞する喜びを聴衆と共有し、音楽鑑賞の喜びを文化として世の中に広めていくことを目的としています。一人でも多くの方と、鑑賞の喜びを共有できるのは「完売・満席の演奏会」です。

また京都ミューズの活動は、「良い音楽を、安く、多くの人々と」の目的のもと、基本的に非営利で行われており、演奏会チケットは採算ギリギリの価格設定になっています。したがって、活動を継続していくためには、常にチケットを完売とし、赤字を出すことなく演奏会を終えなくてはなりません。

加えて、自分のお誘いしたお客様が客席にいらっしゃること、満席の会場で演奏することは、演奏意欲をかきたてるために、非常に重要な要素になります。

以上の理由から、私たちは団員の手で完売・満席の演奏会を作ることを目指します。

しかし、全員が4枚を広めたからといって、完売になるわけではありません。4枚は、完売・満席という目標を達成するために、全員が平等に実現しなければならない条件として設定しています。何枚申し込まれた方も、残席のある限り、全員が「さらにもう一人」のお客様をお誘いすることが求められます。全員の力を合わせて、必ず完売・満席の演奏会を実現しましょう！

※U-25 団員については、必ず1人以上の聴衆をホールに呼ぶ(=必ず1枚以上のチケットを申し込む)ものとします。

※チケット価格は例年、概ね4,000～6,000円の範囲です(価格は席種により異なります)。

□5. 基準を満たす衣装を着用すること

合唱団では、演奏会出演に係る個人の費用負担を最小限にするため、合唱団で決めたユニフォームを全員にご購入いただくのではなく、合唱団が定める基準に合うものを、各自でご用意いただいています。

基準を定める趣旨や具体的な基準は、次のページの通りです。ご確認の上、余裕をもってご準備ください。また、衣装については、演奏会が近づきましたら相談窓口を設けます。ご自身がお持ちの衣装が基準に合うか不安な場合や、手直しをして基準に合わせたい場合などは、現物をもって窓口にご相談ください。

なお、今回の演奏会では不織布マスクの上に合唱用マスクを着用しての歌唱を予定しています。合唱用マスクは遠目に白～淡いクリーム色程度に見えるものをご用意ください。

□6. 定められた期日までに全ての入金を済ませていること

団費、チケット代、その他諸費用について、定められた期日までに入金をお済ませください。

その他、京都ミューズが主催者として、演奏会の開催・進行に支障をきたすと判断した場合には、入団・登壇をお断りすることがあります。

■演奏会では暗譜で歌います

演奏会では、曲をすべて暗譜し、楽譜を持たずに歌います。暗譜とは、歌詞や音符をはじめ、歌詞の意味や曲の流れなど、表現に関わるすべての内容を覚えることで、演奏会で指揮に集中して歌うために欠かせません。

初めて合唱をされる方は、暗譜できるのか不安もあるかと思いますが、心配はいりません。これまで、たくさんの方が、数ヶ月間の練習によって、暗譜をこなし、演奏会の舞台に立たれました。練習を積み重ねるうちに、楽譜なしで歌えるところが増えていきます。経験や年齢にとらわれず、がんばりましょう！

暗譜のためには、普段からなるべく楽譜から目を離して歌うことが大切です。間違いを恐れる必要はありません。むしろ、レッスンではどんどん間違えましょう。それによって、暗譜できていない箇所を自覚することが、早い暗譜・完全な暗譜につながります。また、日々の自主練習で、レッスンで間違ったところや不安なところを、重点的に練習しましょう。そうすれば、必ず暗譜して歌えるようになります。

自主練習の手助けとして、合唱団では、発音・対訳表をお渡しします。また、普段のレッスンの録音動画を（団員限定で）公開するとともに、市販やインターネット上に公開されている音取り音源のご紹介もいたします。ご自身でも積極的にレッスンを録音し、繰り返し聴いて復習することで暗譜につなげましょう。

■班について

団員募集後を目処に、パート別での班体制が始まります。班のメンバーは基本的には合唱団事務局でランダムに決めていますが、初参加者が偏らないようにするなど、班や合唱団の運営に必要な最低限の調整は行っています。月に1～2回程度、休憩時間を使って班のメンバーで集まって簡単な話し合いをする班タイムを設けます。班を活かして情報交換をし、同じ合唱団の一員としての交流を深めましょう。

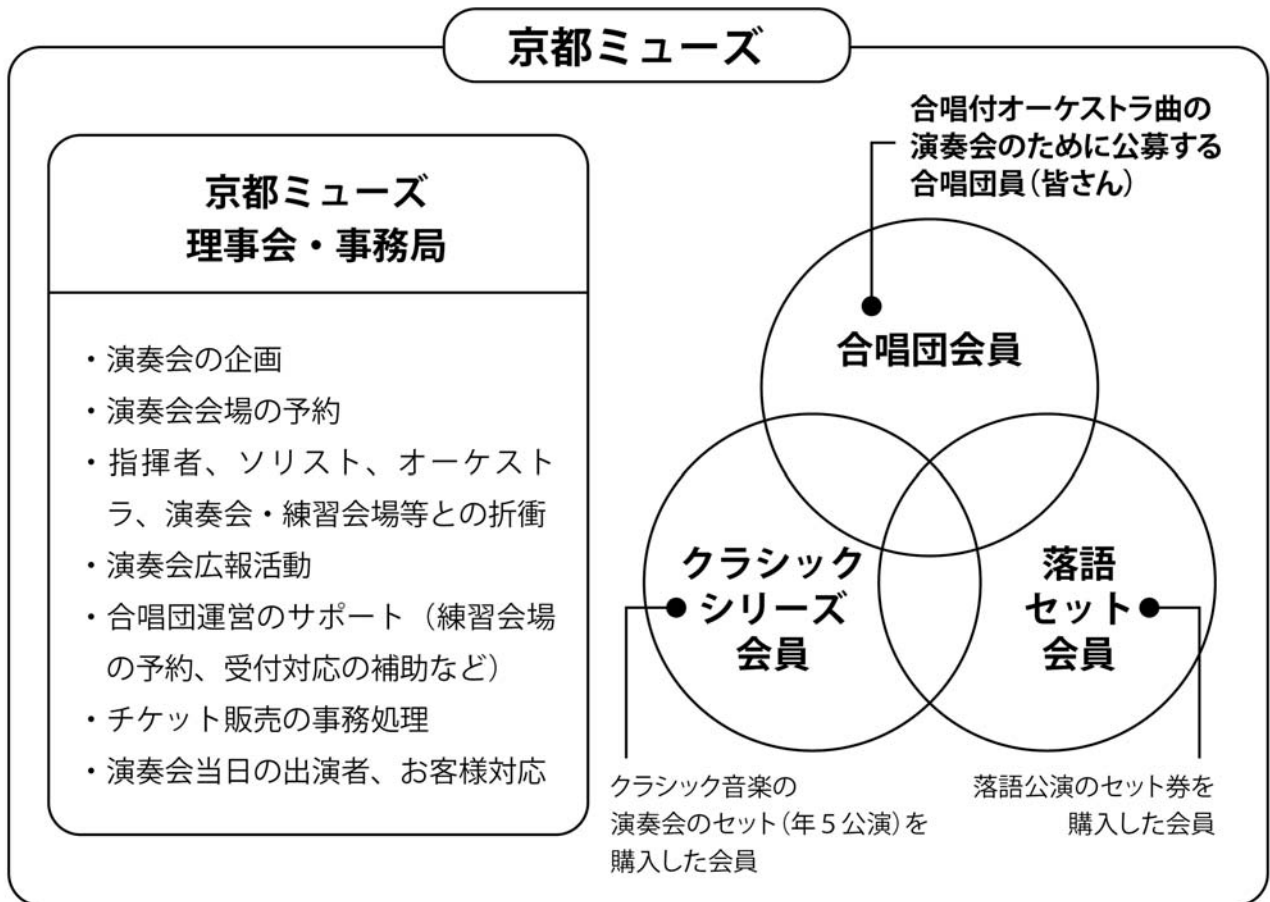
■主催者である京都ミューズの役割

合唱団は、合唱団事務局を中心に、私たち団員の手で運営します。

一方、私たちの演奏会的主催者である京都ミューズは、演奏会の企画・運営に関わる様々な役割を担っています。具体的には、演奏会の企画・年間の活動計画の立案などは京都ミューズ理事会が担当します。

また、演奏会運営に関わる日々の業務（演奏会会場の予約／指揮者・ソリスト・オーケストラなど他の出演者との折衝／チケット販売／演奏会の広報・宣伝活動など）や、演奏会当日の会場との折衝、出演者対応、お客様対応といった業務は、京都ミューズ事務局が担っています。さらに、合唱団運営に関わる部分でも、京都ミューズ事務局の方が、レッスン会場の予約、受付の対応の補助などを行ってくださっています。

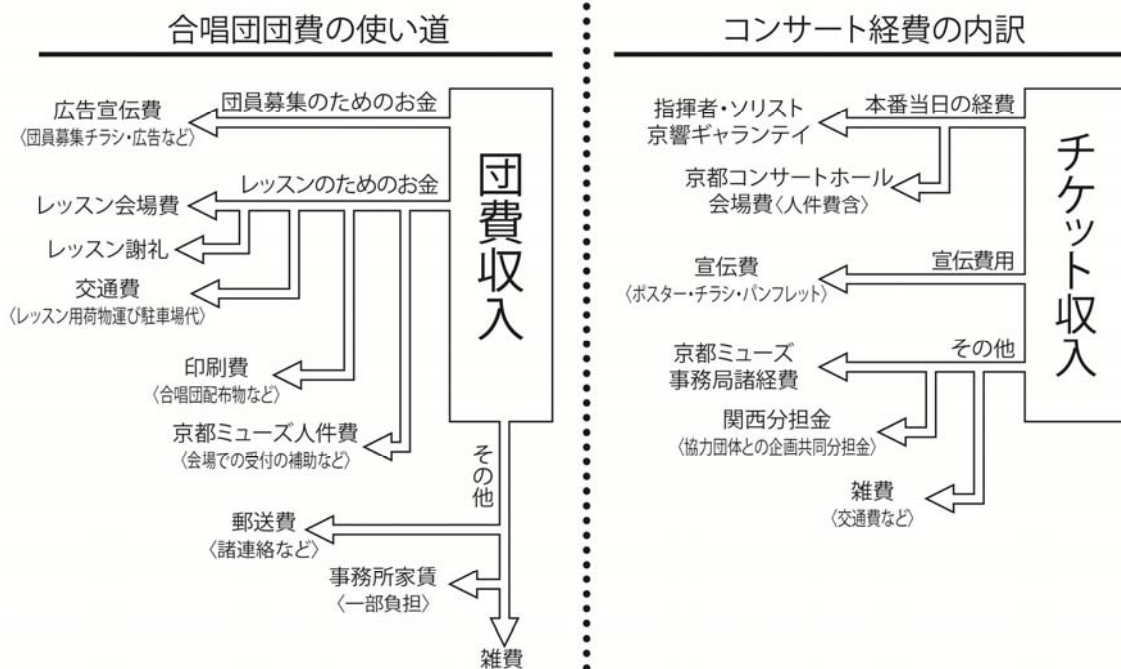
こうした連携によって、私たち合唱団は、レッスンや団員募集活動、チケット拡販に集中することが可能となっているのです。



■合唱団団費・チケット収入の用途

合唱団の団員募集やレッスン実施、運営に関する費用は、合唱団団費で賄います。

一方、演奏会の開催に必要なホール代や出演者へのギャランティなどは、チケット収入によって賄われます。



■録音音源の取り扱いについて

近年、曲の著作権や出演者の権利といった権利関係の問題は、社会的に非常に重大な問題となっております。また、デジタル関係の機器類の発達により、録音データを容易に頒布することが可能な状況が生まれています。こうした中で、合唱団が出演する演奏会の録音音源についても、合唱団員という限られた範囲内で管理することが、極めて難しくなっています。

それを踏まえ、出演者の全て（指揮者、ソリスト、オーケストラ）から録音配布の許諾を得ることが、非常に難しくなってきました。また、京都ミューズとしても、演奏会の録音音源等が何らかの形で合唱団外に流出した場合、出演者やその所属事務所との信頼関係に悪影響があり、今後の演奏会企画全体に支障をきたしたり、場合によっては賠償などを負ったりする可能性があります。

これらの事情を考慮した結果、京都ミューズ主催の合唱団では、演奏会の録音音源については、頒布を一切行わないこととしています。

演奏会は、およそ 9 か月間の活動の集大成です。記念に録音を入手したいという方もいらっしゃると思いますが、どうかご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

■合唱団運営に関するお問い合わせやご連絡について

合唱団事務局員は、京都ミューズ事務所に常駐しておりません。緊急でないご連絡やお問い合わせにつきましては、レッスン会場で直接お伝えください。

次回レッスンまでに連絡が必要な場合や、何らかの事情でレッスン会場に行けない場合は、メールで合唱団事務局にご連絡ください。お電話の場合は、京都ミューズ事務所までご連絡ください。

<合唱団事務局メールアドレス>

kyotomusechor@gmail.com

<京都ミューズ事務所>

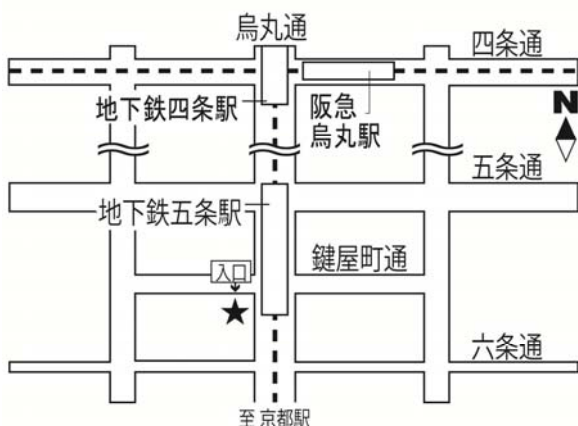
京都市下京区烏丸通五条下ル大坂町 392 豊栄ビル 302

TEL:075-353-7202 受付時間:月曜～金曜 11時～17時

※京都ミューズ事務所には一般の方からのお電話も多くかかってきますので、

ご連絡をくださる場合は、必ず「合唱団の〇〇(お名前)です」とお申し出ください。

京都ミューズ事務所



【公共交通機関】

京都市営地下鉄烏丸線「五条」駅
6, 8 番出口からすぐ

最寄り駅:地下鉄烏丸線「五条」

※駐車場・駐輪場はありません。ビル周辺は駐輪禁止です。

※入口はビル北側にあります。